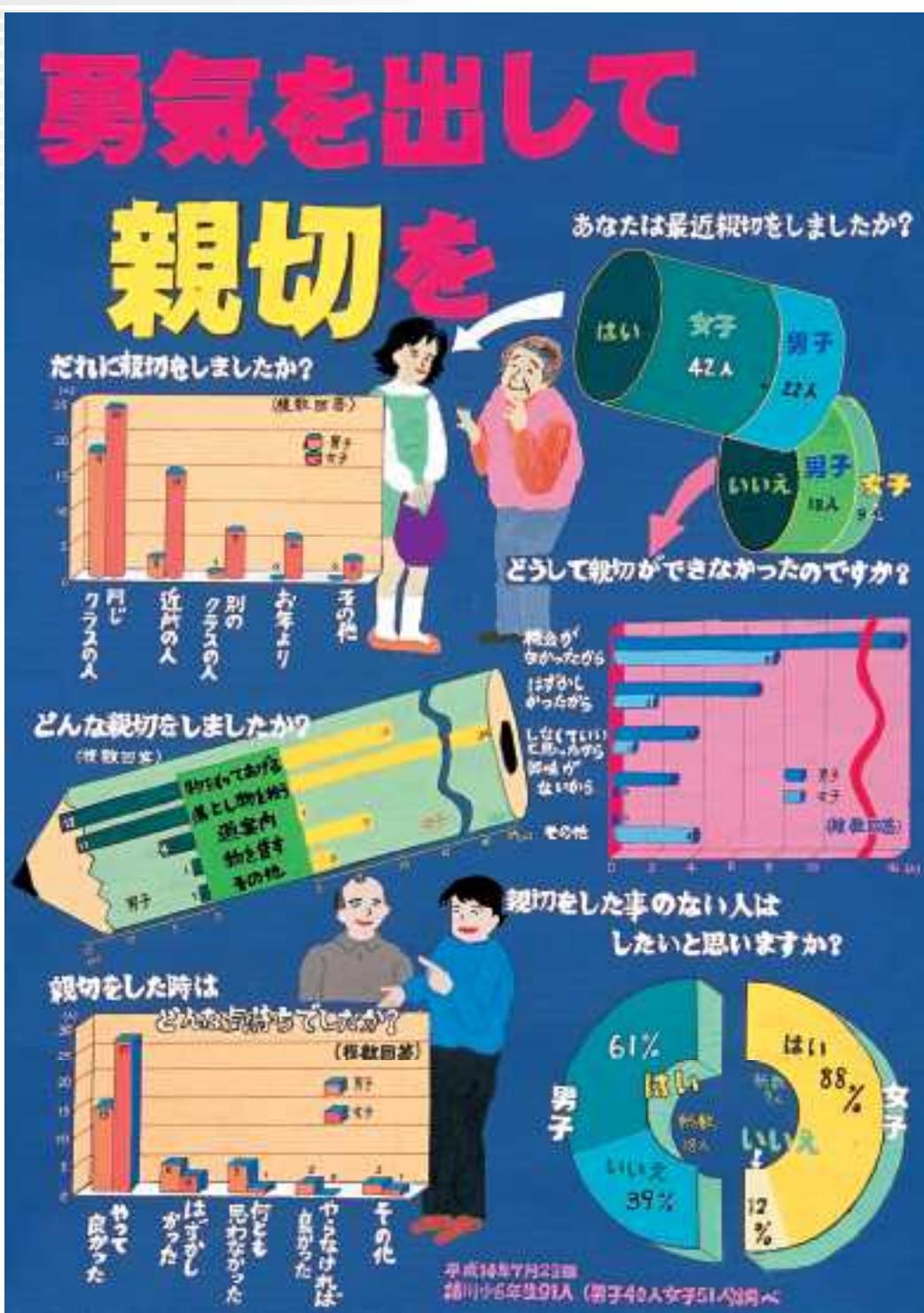


# 統計いばらき

8

- 統計の窓…GISと東京の農業
- 調査から…平成14年茨城県消費者物価指数



# 目 次

統計の窓 GISと東京の農業 .....	1
今月の主な動き .....	3
調査から 平成14年茨城県消費者物価指数 .....	5
主要経済指標 .....	11
人口	
1. 世帯、人口および人口移動 .....	14
2. 市町村別人口と世帯 .....	14
労働	
3. 産業別賃金指数（現金給与総額） .....	16
4. 産業別雇用指数 .....	16
5. 産業別労働時間指数（総実労働時間） .....	17
6. 職業紹介状況 .....	17
農業	
7. 農産物の平均販売価格 .....	18
鉱工業・エネルギー	
8. 鉱工業指数（季節調整済指数） .....	19
9. 産業別電力消費量 .....	22
10. 石油製品販売量 .....	22
金融・企業経営	
11. 金融機関別実質預金・貸出残高 .....	23
12. 県内金融経済 .....	24
13. 企業倒産状況 .....	24
新着資料案内 .....	33

## 利 用 上 の 注 意

- |                          |                            |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. 統計表の数値は原則として単位未満は四捨五入 | 2. 「年」は暦年、「年度」は4月から翌年の3月まで |
| 3. 記号                    |                            |
| — 零または該当数字のないもの          | r 訂正数字                     |
| 0 該当数字が掲載単位未満のもの         | △ 減少または出超                  |
| p 暫定数字                   |                            |

今月の表紙

第53回 茨城県統計グラフコンクール 茨城県知事賞（第3部）  
三和町立諸川小学校 6年 萩野 薫さん



# GISと東京の農業

総務省統計局統計調査部長

須田和博

PTAやILOのようにアルファベットの数文字で表される言葉は昔から多かった。しかし、ICT（情報通信技術）の普及とともにその数は最近になって一段と増えている。PC（パソコン）、CATVに始まり、LAN（ローカル・エリア・ネットワーク）、PHS、ADSL等と枚挙に暇が無い。かつて人気があった漫才コンビと間違えそうなBB（ブロードバンド）というのもある。この種の言葉は、分かる人には説明しなくても分かるが、分からない人には説明しても分からないというものが多い。実際に見ればこういうものだということがすぐ分かるが、そうでないといふら説明しても分からないというものかも知れない。

来年の1月から統計局のホームページで提供を開始する予定の「統計GISプラザ」のGIS（Geographic Information System）もそういう言葉の一つで、GISを既に利用している自治体の関係者にとってはすぐイメージできようが、一般の人にとってはまだまだ分かりにくい。そこで、GISとはどんなものかを説明するために、GISとはこんなものですよということを説明するためのデモストレーション用の画像を、いろいろな統計データを使って作り、機会あるごとに説明するようしている。あくまでデモストレーション用なので、あらゆる地域という訳にはいかず、説明相手の関心を念頭において、特定の地域のデータを個別にGISに打ち込んで作っている。

GISの利用の仕方も、地図上に細分化された区域毎に棒グラフや円グラフを示したり各区域を統計データに従って色で塗り分けたり、あるいは各区域別の人數や企業数をドット（点）で表す方法等がある。このドット方式は、情報容量が膨大になるため、来年1月の「統計GISプラザ」のスタート時点では残念ながら利用できないが、GISのイメージを分かりやすく伝えるのに適当なものとしてデモストレーション用に使うこともある。一度この方法で東京都の産業別従事者数を示す図を作つてみた。これは、東京都の地図を5,495ある町丁字で区切り、各町丁字に居住する産業別従事者数をドット（点）で表したもので、一次産業、二次産業、三次産業毎に一枚の画像になるようにしている。

一つのドットが示す人數を小さく取りすぎると、画面がドットで塗りつぶされてしまいドットの意味がなくなってしまうので、1ドットが示す割合をそれなりの数にする必要がある。例えば、三次産業の場合に1ドット10人で設定すると、23区内はいうに及ばず東京都全体のほぼ半分は真っ黒に塗りつぶされてしまう。しかし、1ドット100人になると色が薄くなり過ぎて濃淡が分かりにくく、1ドット50人位で全体の濃淡が一番分かりやすくなる。二次産業でも同様である。しかし、おなじことを一次産業でやろうとすると、1ドット=50人では地図上何もない状況になってしまう。1ドット1,010人で

## ■統計の窓



も、ほとんど何もない。使っているデータは平成12年国勢調査によるが、この時の東京都の一次産業は27,126人で二次産業1,382,941人の50分の1、三次産業の4,572,511人と比べると100分の1にも満たないのだから無理もない。そこで思い切って1ドット1人、つまり一次産業の従事者が町丁字に1人いれば、その町丁字にドットを一つつけるようにしてみた。二人いれば、ドットが2つである。これでみるとそれなりに濃淡が見える。東京都を東西に3分割した場合の真中の部分や荒川の東側等が比較的濃く、山手線の内側や西側の山間部はほとんど白くなっている。G I Sの良いところは、この様に統計データをより見やすい画像で示すことができることにあり、全国の1次産業従事者割合5.0%に対し、東京都の一次産業従事者割合0.4%というように単に数字で見るのとは違い、より現実のイメージに近づくことができる。たった0.4%しかないと思っていた東京都の一次産業も、このように地図上でみると印象がかなり違う。しかし、それでも二次産業、三次産業などと比べるとどこか寂しい。一つの町丁字にドットが一つ、二つというような地域について思いを馳せてしまうせいであろうか。こういうドットはまた一つずつ減っていくのだろうか等とも考えてしまった。

そんなことを考えていた数日後、寝酒代わりに用いているアウトドア雑誌を読んでいると、このような気分を吹き飛ばすような記事があった。それは、東京都内で産地直売をしている農家を紹介した記事で、いつの間にか住宅地に囲まれるようになった東京の農地を使って、都心にある利点を最大限にいかした新しい試みに取り組んでいる農家の姿をいきいきと映し出している。コインロッカーを活用した無人の販売所、地域の名を冠したブランド作戦、農産物直売マップの配布など、今まで知らなかつた話が紹介されている。東京での農業の難しさもあるだろうが、地域の自治体と一体となって前向きに取り組んでいる姿が描かれている。そこには、産業別割合では・%という統計数字で表されるのとは全く別の表情がある。G I Sの地図上でかなりビジュアルに見えるようになったと思っていたのも一味違う表情がある。何よりも、農業従事者1人1人の顔がみえているし、今の日本に欠けていると言われている元気がある。

統計調査に従事していると、集団全体の傾向に対する関心が強くなる。勿論、このような集団全体の傾向を把握することは、政策立案にとって欠かせない。しかし、集団全体の傾向が把握できたからといって、その内容のすべてを把握できている訳ではない。この当たり前のことを忘れて、集団全体の傾向を知ることですべてが分かったような気になっていたのではないかと、自身の未熟さを省みる良い機会となった。

# ●今月の主な動き

# 今月の主な動き●

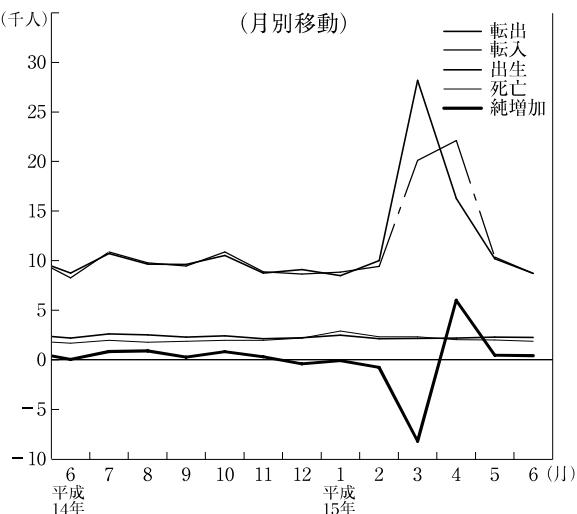
## 今月の主な動き

### ■人口（15年7月1日現在）

#### 6月の概況

**推計人口** 2,990,941人（対前月増398人）  
 （男1,488,986人，女1,501,955人）  
 〈内訳〉 自然動態 395人  
 （出生2,222人，死亡1,827人）  
 社会動態 3人  
 （転入8,626人，転出8,623人）  
**世帯数** 1,022,349世帯（対前月増892世帯）

#### 人 口



### ■賃金・労働時間・雇用（15年2月）

現金給与総額 265,632円（△1.9%）  
 きまつて支給する給与 264,922円（△1.5%）  
 特別に支払われた給与 710円

総実労働時間 150.6時間（△1.9%）

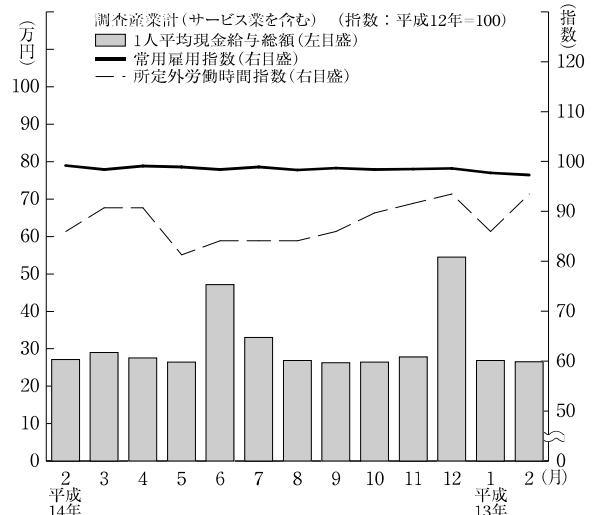
所定内労働時間 140.6時間（△2.6%）

所定外労働時間 10.0時間（8.7%）

常用雇用指数 97.3

※ 事業所規模5人以上、（ ）内は前年同月比。

### 賃金・労働時間・雇用



### ■鉱工業指数（15年5月）（季調済，H12年=100）

**生産** 102.8（前月比8.9%，前年同月比9.4%）  
 上昇…電気機械工業，一般機械工業等  
 低下…非鉄金属工業，プラスチック製品工業等

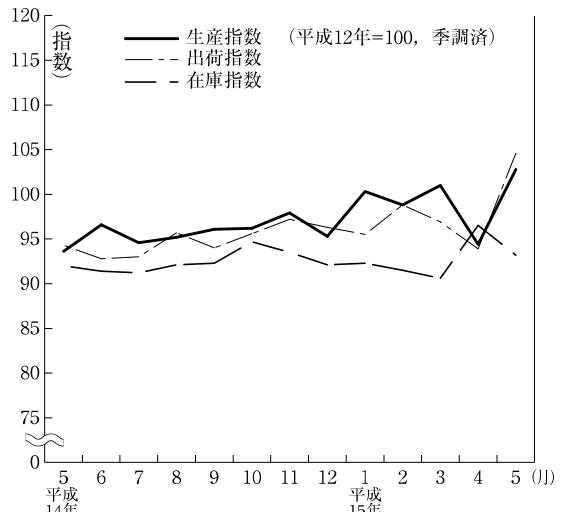
**出荷** 104.6（前月比11.4%，前年同月比11.0%）

上昇…電気機械工業，電子部品・デバイス工業等  
 低下…食料品・たばこ工業等

**在庫** 93.2（前月比△3.4%，前年同月比1.3%）

上昇…プラスチック製品工業，化学工業等  
 低下…電気機械工業，電子部品・デバイス工業等

### 鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



## ●今月の主な動き

## 今月の主な動き ●

### ■消費者物価指数（15年5月）（県平均、H12=100）

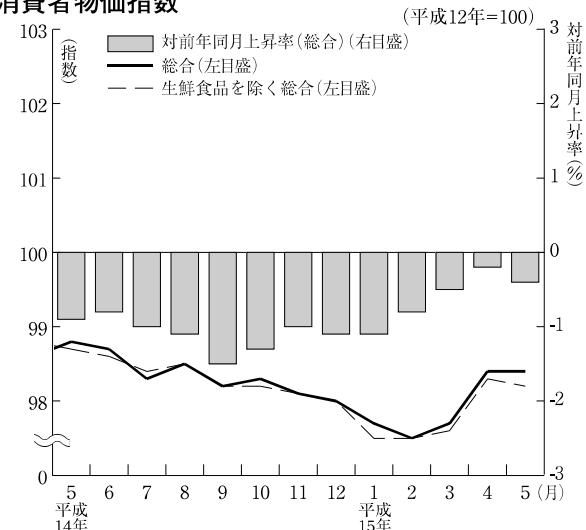
総合 **98.4** (前月比0.0%，前年同月比△0.4%)

上昇した項目…家具・家事用品、被服及び履物など

下落した項目…食料、住居など

生鮮食品を除く総合 **98.2** (前月比△0.1%，前年同月比△0.5%)

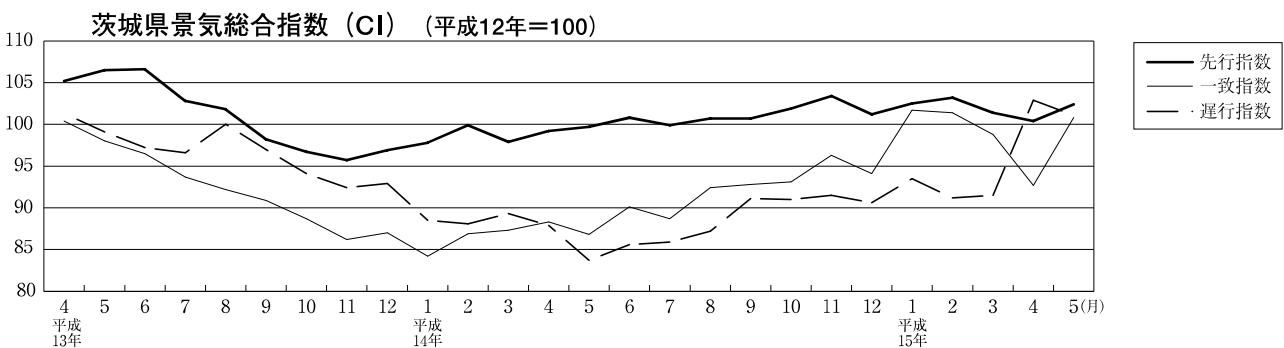
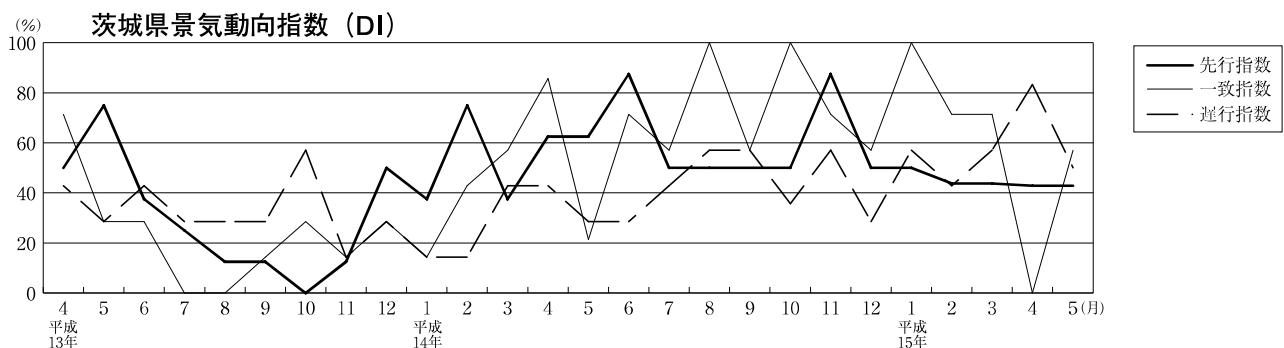
### 消費者物価指数



### ■費目別指標

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	98.4	0.0	△0.4	保健医療	103.1	0.0	5.9
食料	98.3	△0.2	△0.8	交通通信	98.7	△0.1	0.6
住居	100.5	△0.1	0.9	教育	103.0	0.0	0.2
光熱・水道	98.5	0.0	0.9	教養娯楽	94.2	0.1	△2.5
家具・家事用品	90.3	0.6	△3.7	諸々費	102.3	0.3	0.3
被服及び履物	94.1	0.5	△5.7	生鮮食品を除く総合	98.2	△0.1	△0.5

### ■景気動向・総合指標（15年5月）（注）先行指数、逓行指数は速報値、一致指数は確報値。



### 《景気動向指数（DI）》

先行指数 42.9% (速報値) 4か月連続50%を下回った。

一致指数 57.1% (確報値) 2か月ぶりに50%を上回った。

逓行指数 50.0% (速報値) 2か月連続50%を上回った後、50%となった。

5月の景気動向指数の一一致指数は、鉱工業生産指数、産業用電力消費量及び機械工業生産指数がプラスに転じたため、57.1%となり、2か月ぶりに50%を上回った。

経済部門別に見ると、生産出荷・投資関連の指標は、採用している7指標のうち6指標がプラスとなった。

また、消費家計・労働関連の指標では、採用している6指標のうち4指標がマイナスとなった。

### 《景気総合指数（CI）》（H12=100）

先行指数 102.4 (速報値) 対前年同月比 2.8%

一致指数 100.8 (確報値) 対前年同月比 16.1%

逓行指数 101.1 (速報値) 対前年同月比 20.8%

# 平成14年 茨城県消費者物価指数

## 1 概 况

平成14年の茨城県消費者物価指数は総合で98.4（平成12年=100）となり、前年に比べ（-）1.1%下落し、4年連続の下落となった。

## 2 近年の動き

近年の総合指数の動きを対前年上昇率で見ると、消費税の導入などにより平成元年に（+）2.4%上昇した後、2年、3年は天候不順などの影響もあって3%台の上昇となった。4年は（+）1.8%、5年も（+）1.3%と1%台の上昇となった。6年は（+）0.8%と昭和63年以来6年ぶりに1%を下回る安定した動きとなり、7年は（-）0.4%と現在の算定方法となった昭和46年以降ではじめて下落となり、8年も（-）0.2%と2年連続で下落した。

平成9年は、4月の消費税率の引き上げや9月の医療保険制度の改正等により、（+）1.5%と平成6年以来3年ぶりの上昇となった。

平成10年は、天候不順による生鮮野菜の高騰や、前年の消費税率引き上げ及び医療保険制度改正等の影響により、0.7%の上昇となった。

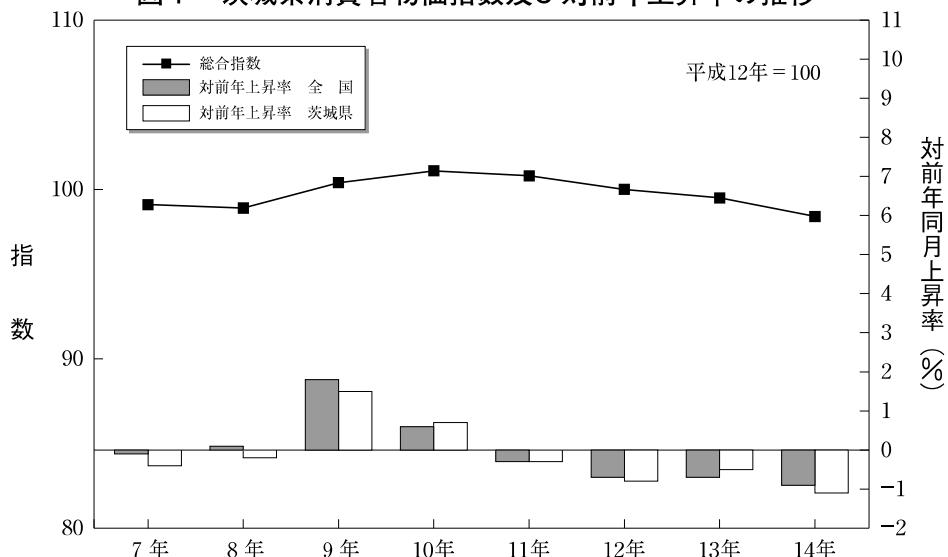
平成11年は、前年に高騰した生鮮野菜が下落したことに加え、電気・ガス代や工業製品が下落したことなどにより（-）0.3%の下落となった。

平成12年は、生鮮食品が値下がりしたことに加え、耐久消費財や繊維製品などの工業製品が下落したことなどにより（-）0.8%の下落となった。

平成13年は、耐久消費財や食料工業製品などの工業製品が下落したことなどにより（-）0.5%の下落となった。

平成14年も、耐久消費財や食料工業製品などの工業製品が下落したことなどにより、総合指数は（-）1.1%の下落と4年連続の下落となった。

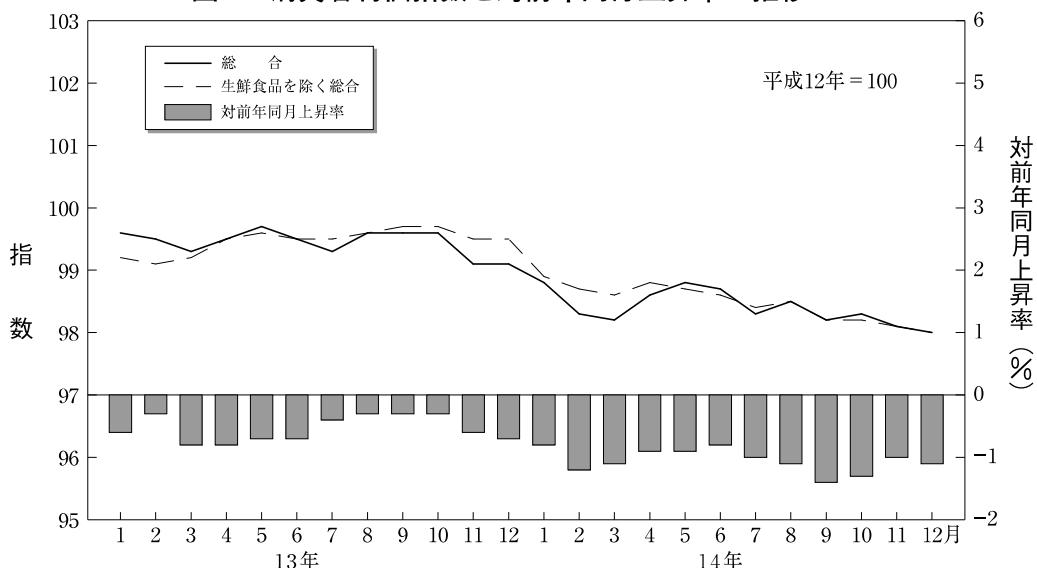
図1 茨城県消費者物価指数及び対前年上昇率の推移



### 3 年間の動き

平成14年は昨年に引き続き年間を通じて対前年同月比がマイナスとなり、12月時点で、平成11年9月から40カ月連続で下落となった。

図2 消費者物価指数と対前年同月上昇率の推移



(参考) 中分類区分表

食料	穀類	家具・家事用品	交通通信
	魚介類	家庭用耐久財	交通
	生鮮魚介	室内装備品	自動車等関係費
肉類	寝具類	寝具類	通信
乳卵類	家事雑貨	家事雑貨	
野菜・海藻	家事用消耗品	家事用消耗品	
生鮮野菜	家事サービス	家事サービス	
果物	被服及び履物	被服及び履物	
生鮮果物	衣料	衣料	
油脂・調味料	和服	和服	
菓子類	洋服	洋服	
調理食品	シャツ・セーター・下着	シャツ・セーター・下着	
飲料	シャツ・セーター類	シャツ・セーター類	
酒類	下着類	下着類	
外食	履物類	履物類	
住居	生地・他の被服類	生地・他の被服類	
家賃	生地・糸類	生地・糸類	
設備修繕・維持	他の被服	他の被服	
光熱・水道	被服関連サービス	被服関連サービス	
電気・ガス代	保健医療	保健医療	
電気代	医薬品	医薬品	
ガス代	保健医療用品・器具	保健医療用品・器具	
他の光熱	保健医療サービス	保健医療サービス	
上下水道料			

## ■調査から

### (1) 月別の動き（対前年同月上昇率でみた場合）

1月…家賃、身の回り用品などの値上がりで「住居」、「諸雑費」などが上昇したものの、生鮮野菜、室内装備品などの値下がりで「食料」、「家具・家事用品」などが下落したことにより、総合で（-）0.8%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
家賃（+）1.7%，身の回り用品（+）7.6%， 家事雑貨（+）1.3%，シャツ・セーター類（+）4.2%	生鮮野菜（-）18.0%，生鮮果物（-）11.7%， 室内装備品（-）8.1%，教養娯楽耐久財（-）5.1%

2月…家賃、身の回り用品などの値上がりで「住居」、「諸雑費」などが上昇したものの、生鮮野菜、教養娯楽耐久財などの値下がりで「食料」、「教養娯楽」などが下落したことにより、総合で（-）1.2%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
家賃（+）0.9%，身の回り用品（+）3.3%，寝具類（+）2.4%， 理美容サービス（+）0.7%	生鮮野菜（-）26.2%，生鮮果物（-）10.2%， 他の光熱（-）6.0%，教養娯楽耐久財（-）15.5%

3月…家賃、身の回り用品などの値上がりで「住居」、「諸雑費」などが上昇したものの、生鮮野菜、教養娯楽耐久財などの値下がりで「食料」、「教養娯楽」などが下落したことにより、総合で（-）1.1%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
家賃（+）0.7%，シャツ・セーター類（+）4.0%， 理美容サービス（+）2.0%，身の回り用品（+）2.8%	生鮮野菜（-）19.8%，他の光熱（-）7.0%， 保健医療用品・器具（-）10.8%，教養娯楽耐久財（-）14.2%

4月…授業料等、身の回り用品などの値上がりで「住居」、「諸雑費」などが上昇したものの、寝具類、保健医療用品・器具などの値下がりで「家具・家事用品」、「保健医療」などが下落したことにより、総合で（-）0.9%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
シャツ・セーター類（+）7.0%，授業料等（+）2.2%， 理美容サービス（+）2.1%，身の回り用品（+）3.8%	生鮮野菜（-）10.5%，寝具類（-）9.4%， 保健医療用品・器具（-）10.1%，教養娯楽耐久財（-）11.9%

5月…授業料等、身の回り用品などの値上がりで「教育」、「諸雑費」などが上昇したものの、寝具類、保健医療用品・器具などの値下がりで「家具・家事用品」、「保健医療」などが下落したことにより、総合で（-）0.9%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
シャツ・セーター類（+）4.3%，授業料等（+）2.2%， 理美容サービス（+）2.0%，身の回り用品（+）3.6%	他の光熱（-）6.4%，寝具類（-）8.2%， 生地・糸類（-）15.0%，保健医療用品・器具（-）11.4%

6月…家賃、授業料等などの値上がりで「住居」、「教育」などが上昇したものの、寝具類、保健医療用品・器具などの値下がりで「家具・家事用品」、「保健医療」などが下落したことにより、総合で（-）0.8%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮野菜（+）5.3%，家賃（+）0.5%，授業料等（+）2.2%， 身の回り用品（+）3.2%	寝具類（-）6.9%，家事用消耗品（-）5.9%， 保健医療用品・器具（-）11.1%，教養娯楽耐久財（-）10.4%

調査から ■

7月…授業料等、身の回り用品などの値上がりで「教育」、「諸雑費」などが上昇したものの、室内装備品、保健医療用品・器具などの値下がりで「家具・家事用品」、「保健医療」などが下落したことにより、総合で（-）1.0%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮野菜 (+) 5.9%, 授業料等 (+) 2.1%, 理美容サービス (+) 1.6%, 身の回り用品 (+) 2.1%	電気代 (-) 5.6%, 室内装備品 (-) 10.9%, 保健医療用品・器具 (-) 11.8%, 教養娯楽耐久財 (-) 10.9%

8月…授業料等、身の回り用品などの値上がりで「教育」、「諸雑費」などが上昇したものの、寝具類、保健医療用品・器具などの値下がりで「家具・家事用品」、「保健医療」などが下落したことにより、総合で（-）1.0%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮魚介 (+) 2.4%, 他の被服 (+) 2.8%, 授業料等 (+) 2.1%, 身の回り用品 (+) 1.7%	寝具類 (-) 7.9%, 生地・糸類 (-) 21.1%, 保健医療用品・器具 (-) 12.9%, 教養娯楽耐久財 (-) 11.6%

9月…授業料等、理美容サービスなどの値上がりで「教育」、「諸雑費」などが上昇したものの、寝具類、保健医療用品・器具などの値下がりで「家具・家事用品」、「保健医療」などが下落したことにより、総合で（-）1.4%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮野菜 (+) 3.4%, 授業料等 (+) 2.1%, 理美容サービス (+) 1.6%, 身の回り用品 (+) 0.8%	寝具類 (-) 9.8%, 和服 (-) 22.7%, 生地・糸類 (-) 13.8%, 保健医療用品・器具 (-) 13.2%

10月…授業料等、理美容サービスなどの値上がりで「教育」、「諸雑費」などが上昇したものの、寝具類、和服などの値下がりで「家具・家事用品」、「教養娯楽」が下落したことにより、総合で（-）1.3%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮魚介 (+) 3.8%, 授業料等 (+) 2.1%, 理美容サービス (+) 1.6%, 身の回り用品 (+) 0.7%	寝具類 (-) 10.3%, 和服 (-) 22.7%, 保健医療用品・器具 (-) 11.8%, 教養娯楽耐久財 (-) 12.9%

11月…授業料等、理美容サービスなどの値上がりで「教育」、「諸雑費」が上昇したものの、家庭用耐久財、教養娯楽耐久財などの値下がりで「家具・家事用品」、「教養娯楽」などが下落したことにより、総合で（-）1.0%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮野菜 (+) 14.6%, 授業料等 (+) 2.1%, 教養娯楽サービス (+) 1.5%, 理美容サービス (+) 1.6%	家庭用耐久財 (-) 8.4%, 和服 (-) 22.7%, 生地・糸類 (-) 10.6%, 教養娯楽耐久財 (-) 13.2%

12月…交通、理美容サービスなどの値上がりで「交通通信」、「諸雑費」が上昇したものの、寝具類、和服などの値下がりで「家具・家事用品」、「被服及び履物」などが下落したことにより、総合で（-）1.1%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮野菜 (+) 18.5%, 生鮮果物 (+) 5.4%, 自動車等関係費 (+) 0.3%, 理美容サービス (+) 1.5%	家庭用耐久財 (-) 9.3%, 寝具類 (-) 9.9%, 和服 (-) 22.7%, 保健医療用品・器具 (-) 8.3%

## ■調査から

### (2) 月別の動き（対前月上昇率でみた場合）

1月…生鮮野菜、家賃などの値上がりで「食料」、「住居」などが上昇したものの、洋服、教養娯楽耐久財などの値下がりで「被服及び履物」、「教養娯楽」などが下落したことにより、総合で（-）0.3%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮野菜（+）10.1%，生鮮果物（+）8.6%， 家賃（+）0.1%，理美容用品（+）0.2%	洋服（-）8.9%，シャツ・セータ類（-）7.5%， 保健医療用品・器具（-）1.3%，自動車等関係費（-）0.5%

2月…保健医療用品・器具の値上がりで「保健医療」が上昇したものの、洋服、教養娯楽耐久財などの値下がりで「被服及び履物」、「教養娯楽」などが下落したことにより、総合で（-）0.5%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
保健医療用品・器具（+）0.5%，寝具類（+）5.3%， 他の被服（+）1.6%	生鮮野菜（-）10.1%，洋服（-）5.1%， 教養娯楽耐久財（-）2.0%

3月…洋服、理美容サービスなどの値上がりで「被服及び履物」、「諸雑費」が上昇したものの、設備修繕・維持、寝具類などの値下がりで「住居」、「家具・家事用品」などが下落したことにより、総合で（-）0.1%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮魚介（+）4.5%，洋服（+）7.2%， 理美容サービス（+）1.4%	設備修繕・維持（-）0.6%，寝具類（-）7.4%， 保健医療用品・器具（-）5.8%

4月…電気代、保健医療サービスなどの値下がりで「光熱・水道」、「保健医療」などが下落したものの、シャツ・セーター類、授業料等などの値上がりで「被服及び履物」、「教育」が上昇したことにより、総合で（+）0.4%の上昇となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮野菜（+）7.8%，シャツ・セーター類（+）14.0%， 授業料等（+）2.1%	電気代（-）5.9%，寝具類（-）4.5%， 保健医療サービス（-）3.3%

5月…家賃、教養娯楽耐久財などの値下がりにより、「住居」、「教養娯楽」が下落したものの、生鮮果物、自動車等関係費などの値上がりにより、「食料」、「交通通信」などが上昇したことにより、総合で（+）0.2%の上昇となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮果物（+）11.2%，洋服（+）3.0%， 自動車等関係費（+）0.4%，理美容用品（+）0.8%	家賃（-）0.4%，生地・糸類（-）6.0%， 教養娯楽耐久財（-）0.8%，教養娯楽用品（-）1.4%

6月…家賃、教科書・学習参考書などの値上がりにより、「住居」、「教育」が上昇したものの、生地・糸類、理美容用品などの値下がりにより「被服及び履物」、「諸雑費」などが下落したことにより、総合で（-）0.1%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮野菜（+）5.0%，家賃（+）0.3%，下着類（+）1.4%， 教科書・学習参考書（+）1.7%	生鮮魚介（-）4.5%，生地・糸類（-）1.5%， 教養娯楽用品（-）2.3%，理美容用品（-）0.6%

## ■調査から 調査から ■

7月…教養娯楽用品、身の回り用品などの値上がりにより「教養娯楽」、「諸雑費」などが上昇したものの、室内装備品、シャツ・セーター類などの値下がりにより、「家具・家事用品」、「被服及び履物」などが下落したことにより、総合で(-)0.4%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
保健医療サービス (+) 0.2%, 交通 (+) 0.4%, 教養娯楽用品 (+) 0.3%, 身の回り用品 (+) 0.6%	生鮮果物 (-) 7.5%, 飲料 (-) 4.8%, 室内装備品 (-) 6.8%, シャツ・セーター類 (-) 4.1%

8月…シャツ・セーター類、保健医療用品・器具などの値下がりにより「被服及び履物」、「保健医療」などが下落したものの、自動車等関係費、教養娯楽サービスなどの値上がりにより、「交通通信」、「教養娯楽」などが値上げしたことにより、総合で(+)0.2%の上昇となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
交通 (+) 1.5%, 通信 (+) 0.4%, 教養娯楽用品 (+) 1.8%, 教養娯楽サービス (+) 3.1%	調理食品 (-) 3.7%, シャツ・セーター類 (-) 8.2%, 保健医療用品・器具 (-) 0.9%, 自動車等関係費 (-) 0.3%

9月…家賃、生地・糸類などの値上がりにより、「住居」、「被服及び履物」などが上昇したものの、交通、教養娯楽サービスなどの値下がりにより、「交通通信」、「教養娯楽」などが下落したことにより、総合で(-)0.3%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮野菜 (+) 4.8%, 家賃 (+) 0.2%, シャツ・セーター類 (+) 7.6%, 生地・糸類 (+) 8.1%	和服 (-) 23.1%, 交通 (-) 2.0%, 教養娯楽用品 (-) 0.9%, 教養娯楽サービス (-) 3.3%

10月…家庭用耐久財、教養娯楽耐久財などの値下がりにより、「家具・家事用品」、「教養娯楽」が下落したものの、保健医療サービス、自動車等関係費などの値上がりにより、「保健医療」、「交通通信」などが上昇したことにより、総合で(+)0.1%の上昇となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮果物 (+) 7.6%, シャツ・セーター類 (+) 3.2%, 保健医療サービス (+) 3.0%, 自動車等関係費 (+) 0.9%	生鮮野菜 (-) 4.6%, 家庭用耐久財 (-) 3.2%, 教養娯楽耐久財 (-) 2.5%, 教養娯楽用品 (-) 1.5%

11月…生地・糸類、保健医療用品・器具などの値上がりにより、「被服及び履物」、「保健医療」が上昇したものの、寝具類、教養娯楽耐久財などの値下がりにより、「家具・家事用品」、「教養娯楽」などが下落したことにより、総合で(-)0.2%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮野菜 (+) 3.4%, 洋服 (+) 2.5%, 生地・糸類 (+) 4.0%, 保健医療用品・器具 (+) 1.8%	室内装備品 (-) 1.7%, 寝具類 (-) 2.9%, 教養娯楽耐久財 (-) 1.6%, 教養娯楽サービス (-) 0.7%

12月…生鮮野菜、身の回り用品などの値上がりにより、「食料」、「諸雑費」などが上昇したものの、シャツ・セーター類、教養娯楽耐久財などの値下がりにより、「被服及び履物」、「教養娯楽」などが下落したことにより、総合で(-)0.3%の下落となった。

上がった主な項目	下がった主な項目
生鮮野菜 (+) 5.8%, ガス代 (+) 0.2%, 他の光熱 (+) 0.8%, 身の回り用品 (+) 2.2%	洋服 (-) 6.0%, シャツ・セーター類 (-) 6.3%, 教養娯楽耐久財 (-) 3.3%, 教養娯楽サービス (-) 1.8%